会津若松市政だより

発行所
福島県会津若松市栄町
会津若松市役所
編集兼発行人 新城辰五郎
定価 5.00
3月号

人口動態

（3月1日現在）

世帯数	19,299（－18）		
現在人口	98,266（－33）		
男	47,010（－6）		
女	51,256（－27）		

（2月中）

出生	183件	死亡	71件
転入	193	転出	338
婚姻	65	離婚	8

4月から緑化運動です

市制60周年を記念して植樹しよう

本年は、会津若松市は市制60年の輝かしい年であります。こうした意義有る年を記念するため市ではいろいろな行事や事業を計画していますが、そのひとつとして植樹計画があります。

例年、春秋に行われております国土緑化運動は、年々その企画が理解されて、この緑化運動を展開してから本年で十年を迎えたのであります。

こうした時、四月十日の皇太子の御婚儀と重なって、植樹には誠に意味深い年に当りますので、皆さんの家庭でも是非植樹を実行致しましょう。

本市農政課では、新市建設基本計画の造林計画で、現在市有林の八十町歩でありますが、国の払下見込みが百二十町歩、合せて二百町歩が目下計画を実施中です。これによると、昭和四十一年にはこの計画が完成し、輪伐期三十年として、まったく完成する予定なのです。

又、会津若松市の市、私有林の山野は約一万九千ヘクタールの山地があるわけですから、こうしたことからあなたの所有している土地を遊ばせないで植樹することは、あなたの財産を築くことになるのです。本市でも市制六十周年にちなんで秋季緑化強調週間には、十月一日から十一月三十日まで、市制六十周年記念植樹を一箕町地内に実施します。

又、春季緑化週間は、四月一日より五月三十一日までに植樹祭を行います。あわせて皇太子御結婚記念植樹を行います。

又、緑の羽根を募集し、各種団体記念植樹を行ってもらいます。

こうした緑化運動はあなたの家庭でも出来ることで、土地のない人は、分収造林法があって、造林はしたいが土地や資金がないと云う人のために法律により、土地所有者、造林する人、又は費用を負担する人が話し合いの上で、分収契約をすれば従来通りです。

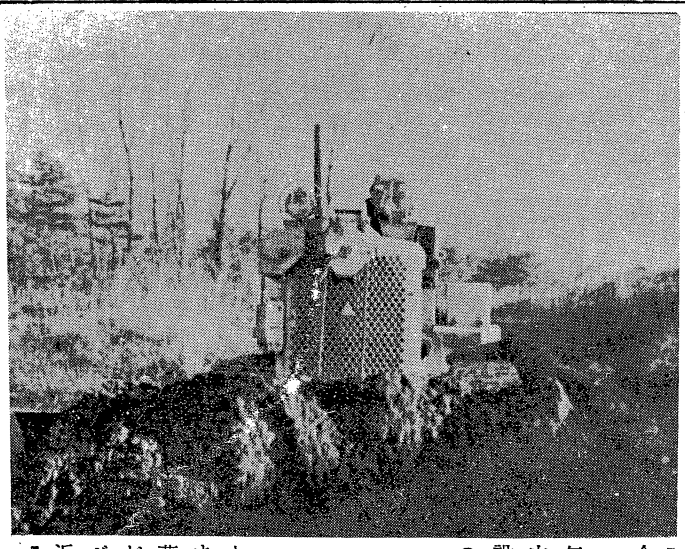
市役所の執務時間が変ります

四月一日より市役所は五時十五分まで執務致します。尚、休憩時間は正午から四十五分間です。土曜日は、お知らせ下さい。尚〆切は四月十日までです。

あなたはこの市政だよりをいつ受取りましたか？

市政だよりを編集発行している広報公聴係では、今後の参考にしたいと思いますので、市民の皆さんにいつ渡るかを調べたいと思いますので、あなたが受取った日を官製はがきに記入の上非常に便利になっております（市政だより92号を参照して下さい）から、皆さんこの年に少しでも造林を致しましょう。

とうした面で造林に対し、よいのです。



一枚ルポ

今年の会津若松は力強いハードボード工場建設の年であります。ここ暮の内では、三月より清水建設の手で目下工場建設への才一歩をふみ入れました。ブルドーザーのたくましいエンジンの音が、幕の内一体を響かせ、やがて会津の象徴ともいうべき工場が出来上る日も近いのです。

会津若松市を緑で美しくしましょう

4月より緑化運動

昭和三十四年度予算五億六千萬円

画期的予算市会始まる

昭和三十四年度の予算その他を審議する三月定例議会は、三月十日から会期十七日で開会されました。

三十四年度の一般予算額は約五億六千八百万円で、ハード・ボード工場の誘致など大きな事業の進行に伴いかなり大きなものとなりましたが、提出議案は歳入歳出予算外、五八件（議会提案を含む）が審議されます。主な予算内容は

公会堂建設費一千万円
ハード・ボード工場敷地買収費三千万円
駅前広場拡張整備一千九百万円
二中永和小改築二千万円
東山街道舗装及市道舗修千四百万円
公営住宅（七十戸分）二千五百万円
失対事業二千六百万円
公共空地整備事業二百万円
部落電話百八十万円
中小企業者へ機械貸付二百万円
国土調査土地改良六百二十万円
新農村建設貸二百万円
温泉街振興費百四十万円

などで。市会では連日慎重な審議が行われていますが、これによって昭和三十四年度の市政の基本が決定されるのです。

今年度新市建設の

部落電話が完成しました

新しく市になった部落に対して毎年部落電話の新設を実施致しておりましたが、昭和三十三年度設置完了個所左記のとおりです。

神指町東神指連絡所（皆川誠之方）電五、一七〇番
〃　横沼（本田テツ方）〃三、二八七番
〃　町北町藤室（皆川光雄方）〃三、二八六番
一箕町松窪　〃　代春方）〃三、二八五番
〃　長原（丸山春次方）〃五、一六九番
門田町一ノ堰〃（佐々木コウ方）〃一、二五一番
〃　面川（竹内伊勢次方）〃三、三三四番

会長に星野昇七郎氏が再選されました。

星野氏再選さる

三月七日午前十時から市会議室で建設審議会では委員の改選を行った。

町北町中地（電話番号変更により三、二八八番）門田町中島、町北町平沢、一箕町北柳原は現在計画中です。

素顔の会津若松市

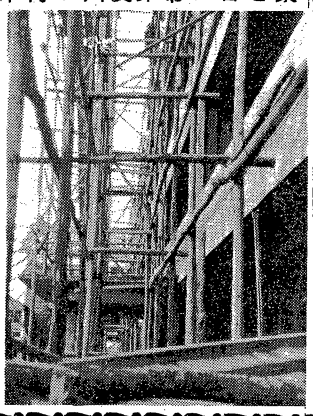
⑨ 教育行政

教育施設の充実へ

33年度予算では第一位

今市の生徒児童数は私立を除いて三月一日現在一九六三名、これを収容する小学校は本校が二十六分校が十となっておりますが、戦後の学制改革や近接七ケの村合併などにより、各学校の教育施設の完備については、目下新市建設五ケ年計画に基き着々と進められております。しかしながら、これらの尨大な生徒児童を収容する各学校は、戦後新設されたものを除いては老朽の限界に達しているものが多く、更に学制改革にともなう設備の補充や児童生徒の自然増による校舎の拡張など教育施設にからむ問題が山積しており、現在の地方自治体の状態からして一挙に解決することは至難なことであります。

一方国においても来年度から不正常授業の解消と老朽校舎の改策に重点をおき、予算も今年度より十六億円増の七十億円の（国庫補助）予算がすでに国会を通過しました。このように教育に対する市も目下教育施設の問題を解決し一方ならぬ努力を続けておりますが、今後の教育施設の問題が完全に解決するのはそう遠い話ではないのです。（終）



（写真は完成急ぐ城西小学校）

素顔の会津若松市は、もちろん、このような状態はひとり本市のみにとどまらず全国的な傾向であるとは云え教育問題はゆるがせに出来ないものであり、三十三年度においては窮屈な財政下にありながら当初においては城西小学校の改築をはじめ原小屋体、永和小、門田小中湯川分校、更に六月・九月の定例会及び臨時市議会で鶴城、謹教、日新一箕の各小学校と一中屋体など六千七百万円が予算化され教育費が初一位を占めました。

尚34年度からの四月号は「会津若松市の二四時」と題して企画を進めますこれは調査室統計係等の協力をえて、市民生活の統計面を中心にした解説を試みるものです。御期待下さい。（係）

昭和34年度 第1次 陸海空一般自衛官募集

採用予定人員、五十三百名
志願受付、三月一日から四月十五日まで。
年令、十八才以上二十五才まで。
試験、四月下旬ころ
入隊、七月上旬。
待遇、二等陸海空士初給約六千二百円他に衣食支給。
⊙志願用紙及び詳細は当市役所総務課、支所、出張所に申込下さい。

東北開発促進貯蓄運動マーク図案募集

一、趣　旨　東北の開発を促進するため、県民の一人一人が一層の消費節約と貯蓄の増加を図ることが必要です。東北七県一丸となり開発資金蓄積の必要性を強調し一般に周知徹底を図るため、広く東北七県から開発貯蓄に因で「マーク」図案を募集し優秀な作品を賞して、強力な貯蓄運動を推進するのです。

二、条　件
1、応募作品は創作にして、未発表ものの応募点数は制限しません。
2、「貯蓄の色・マーク」の応募作品の大きさは、自由です。
3、用紙は画用紙等の厚紙を使用して下さい。
4、応募作品には、応募者の住所、年令、職業をインキ又は墨でおかき下さい。
5、応募作品は返戻しません。
6、入賞作品の版権は主催者に帰属します。
7、入賞作品は主催者において使用する際は、補正することがあります。

三、締　切　昭和三十四年三月末日（当日消印あるもの有効）

四、宛　先　東北七県各県の貯蓄主管課及び貯蓄推進委員会並びに財務局財務部、日本銀行支店及び事務所。

五、審　査　東北七県各貯蓄推進委員会において各県毎に審査を委嘱し、審査を行い各県毎に各二〇点を選定の上昭和三十四年四月十五日までに幹事県に送付します。

六、賞　入選　第一席　五、〇〇〇円　一点
準入選　一、〇〇〇円　二点
佳作記念品　一〇点

七、発　表　昭和三十四年四月末日　各県（東北七県）を通じ、入賞者には個別に通知します。

主催　東北七県各貯蓄推進委員会
後援　東北七県・東北、関東財務局・日銀支店
事務所・東北開発促進協議会

4月は選挙期です 補充選挙人名簿の調製を

来る4月23日に行われる県議会議員選挙及び4月30日に行われる市議会議員選挙につき、下記によりそれぞれ補充選挙人名簿が調製されますから該当者は申請して下さい。
昨年9月15日現在で作った選挙人名簿に登載されている人は、その必要がありません。
又、手伝い、出張などで本市に居る人も関係ありません。

県議会議員選挙のための補充選挙人名簿について

1. 調製現在期日　4月10日現在
　○年令（昭和34年4月10日で満20才になった人。）
　○居住期間（昭和34年4月10日で本市に住居を定めて満3ケ月になった人。）
　○資格はあったが基本選挙人名簿にもれた人は申請すること。
2. 申請期間　4月11日から4月13日までの3日間（午前8時30分から午後5時まで）
　○申請期間よりおくれたものは受付けできませんからお早く申出ること。
3. 受付場所
　○選挙管理委員会（各支所出張所）

市議会議員選挙のための補充選挙人名簿について

1. 調製現在期日　4月22日現在
　○年　令（昭和34年4月22日で満20才になる人。）
　○居住期間（昭和34年4月22日で本市に住居を定めて満3ケ月になる人。）
　○現に効力のある名簿にもれている人申請はすること。
2. 申請期間　4月23日、24日の2日間（午前8時30分から午後5時まで）
　○右期間よりおくれたら受付できませんからお早く申出ること。
3. 受付場所　○選挙管理委員会（各支所出張所）

あなたの犬を登録犬に

狂犬予防法により、四月一日現在において生後九十一日以上の犬飼育者は、四月三十日まで県知事に登録を申請しなければなりません。あなたの犬を必ず登録して下さい。

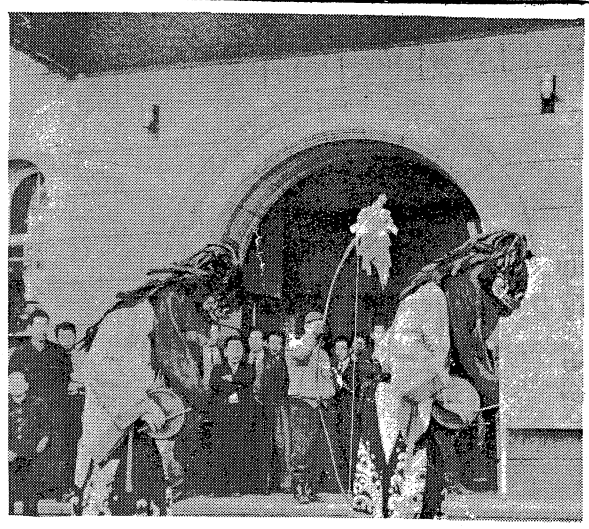
△登録場所、会津若松市役所衛生課及支所出張所
△登録手数料　一頭につき三百円
△登録期日、四月一日より四月二十八日まで

尚昭和三十四年度春季狂犬病予防注射は四月中に実施予定であるので、注射前に登録申請される様願います。

犬の所在地、所有者の変更又は死亡等の移動があった場合は市衛生課及支所出張所にお届け下さい。

春は風紀が乱れます

防犯につとめ明るい市にしよう



会津地方に春の訪れをつげるものは郷土色豊かな彼岸獅子です。のどかな笛の音につれて弓くぐりの妙技……並みいる市職員の間から思わず拍手も起る和やかな風景です。やがて桜もほころび、会津の野山が緑に包まれるのです。

春先には青少年の家出や自殺不良化が急に増す時期です。最近の会津若松市は、街をおちおち歩くことも出来ません。風紀が非常に乱れ困った現状です。こうした、犯罪を防ぐのも私達の生活をしっかりとして家庭なり家庭環境により色々と処する勇気を教えることが必要です。

又、年頃の娘さんをお持ちの親は、色々男の子と異って心配があるものですがとかく会津は、素朴な教育で古くから伝統がある土地なのですが、最近この善良な娘さんが色々の問題やら、又理由もなく被害を受けていることは、誠に困ったものです。

こうした場合是非必要なことは、娘さんの夜一人歩きや、暗い所などは歩かないようにし、ハンドバッグに笛などを入れておる心掛けが必要で、これも家庭での娘教育が大切で、娘教育など一切気にもしない親、娘中心主義の家庭などは、是非、親から秩序ある生活を送るよう指導して下さい。いくら防犯につとめましょうなどと警察や公共団体が力を入れても、家庭教育が十分行なわれないでは効果を上げることは出来ません。

町内で街燈をつけよう

こうした家庭教育からまず各町内で、暗がりに街燈をとりつけ、町内の一人一人が防犯に協力して頂き、明るい会津若松市を築き上げたいものです。最近の会津若松市は犯罪が多く、日常の生活がおびやかされて居ることは本当に困ったものです。

又、そうした被害を受けた場合、表面に出したがらないのは、犯罪を増大する原因ですから警察に申出下さい。

市民と町内会と警察が協力して始めて明るい街が出来るのです。今年は市制施行60年に当る意義深い年ですので、今年は明るい犯罪のない会津若松市に致しましょう。

☆わたくしたちも一役
（花見どきの犯罪防止4月中）
いざ集団組織でお花見に……

市政論文表彰式終る

今年度は八月に応募の予定

第二回の市政論文の表彰式が廿日午後三時から市オ一応接室で開かれました。今回の論題は、観光都市として如何に進むべきか、農村生活と農業経営について、今後の住民組織は如何にすべきかの三論題でしたが、それぞれの部門に三氏が入選しました。（二月号参照）

出席者は市長、議長の他各審査員、応募者多数が出席し、表彰式終了後座談会を開催し、色々論文の内容又は今後の論文募集の方法等など話が続出し、終始なごやかに表彰式を終りました。尚今年度は八月中に論題を決定し、十二月に表彰式を行うよう応募期間を長く持ち、実のある論文を募集します。

明治（上）

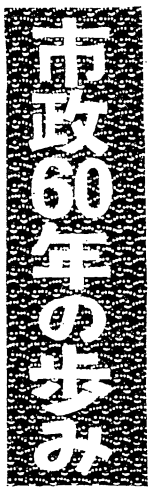
戊辰戦争が決定的な「敗戦」に終ったあとの若松は想像以上に悲惨なものでしたが、それはともかくここではし、人口や職業など住民の実態が把握されたのは明治元年九月二十九日には西軍による民政取締所が設けられ、翌二年の五月四日には福島、磐前と並んで若松県が置かれましたが、若松がいろ〳〵な意味で落着きを取り戻り更「市制施行」前の若松について、主に政治の仕組みを中心に考えてみましょう。

▼明治維新が王政復古に名をかりた薩長などの藩閥政府の確立に終ったことは今では定説ですが、地方を治める方針としても藩制時代の旧習を断ち均一化を図ると同時に新政策の普及実行を図ることが強く打ち出された結果、旧来の町村というものとは別の単位ー「区」が生ずるわけです。

▼戦乱のあとも生々しいの影響がまだ尾をひいていたらしく、大区小区制が実施されたのは明治六年二月一日のことです。

▼当時の貴重な資料によりますと次のような若松県庁申渡が出ています。

一、従前ノ大年寄、町肝煎ヲ廃シ左之通リ更



（2）

明治九年には若松県が廃止され、明治十六年に至って数町村連合単位を行政区とする戸長管区制により若松は二つの連合戸長役場によって行政が進められることになりました。

▼明治二十二年四月一日「町村制」が施行される

に至り連合体から統一体として若松町が誕生したのですが、明治二十三年七月には既に時の町長倉田作十郎の名で西郷内務大臣宛に「市制施行申請」が出されております。その文案をみますと多くの人々の苦心と町民の強い念願のほどが偲ばれますが、明治三十一年九月内務省の告示が行われるまで十年近くの運動が続けられたのです。

二戸長副戸長申付候事

われます。

▼その後、明治政府の徴兵令、地租改正などと共に地方制度は次才に確固たるものとなり、「福島事件」なども起こりましたが、末端機構として再編成された町政の仕組みも変遷がみられます。

一、市中六区二戸長副戸長十二人置カルベキ事

云々というのがそれで、藩制時代の役人は一切廃たが、新らしい官吏たる戸長を内務省によって全国的に統一する仕組みが出来上るわけです。

▼明治四年九月の若松の人口は一万八千二百七十六人ー城下町時代に比べて著しく減っています。こゝに象徴される若松の沈滞した現象は、当時近代資本主義への道を急いで活潑な動きをみせていた全国各都市に比して立ち遅れとなり、それが後に大きな影響を与えたと思

お知らせ

被保険者証の交付について

本市国民健康保険は発足以来一年になり、その趣旨、制度については診療を通じて充分御理解になったことと存じます。

ところが国民健康保険法の改正により従来使用中の受診証に代って新しい被保険者証を交付することになりましたので受領して下さい。

尚未加入者、転入、転出、出生、死亡、他の健康保険に加入された人。生活保護を受けた人は今の中に市保険課へ届出て下さいこれらの世帯内に生じたあらゆる異動は、新法によって世帯主の義務とされ、取扱上届出をしない場合違反として処罰されることになったので、特に怠らないよう注意して下さい。

1、交付年月日
昭和三十四年四月一日より町内各区長さんを通じて交付します。

2交付要件
受診証（黄色刷のもの）と引換へに交付しますから必ず用意しておくこと受診証を失くした人は「ハンコ」持参の上市保険課へお出で下さい。

3誤り記入の処置
被保険者証の記載内容に誤りある場合は保険課に申出て訂正して下さい。

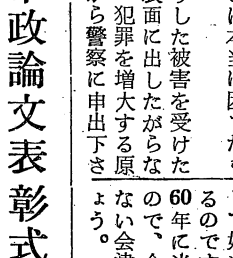
引揚者給付金請求の内地滞在が拡大されました

地に滞在されておられた方は、（軍人…等）引揚者給付金等支給の規定で本邦に滞在中として取あつかって来ましたが、今後はこれらの理由以外で、本邦に来ておられた方でも事情により認定されることになりましたから、該当者は市福祉事務所に申出下さい。

1本邦に所在する部隊に入営又は応召中の者。
2本邦に所在する工場、事業場等に応徴中の者。
3本邦にある学校に在学中の者。
4本邦に公用、社用等で出張中の者。（但し昭和20年2月15日以前から引続き本邦にあった者は保留する）
5墓参、冠婚葬祭、病気療養又は出産（但し昭和20年2月15日以前から引続き本邦にあった者は保留する）

宅地建物取引員試験講習会を開きます

昭和三十四年宅地建物取引員試験は、五月下旬（日時未定）に実施されますが、尚、準備講習会を五月上旬に開催される予定ですから受講希望者は、土木事務所に申込み下さい。



赤ちゃんの健康を守る
乳児検診を受けましょう

赤ちゃんの健康を守るため乳児検診を行いますから、該当者は洩れなく受診して下さい。該当者は昭和33年1月から12月までの出生児です。検診料は無料です。この検診によって、実施予定の福島県赤ちゃん大会の優良児を選出する。（該当者33年1、2、3、4、5、6月生）母子手帳持参のこと。なほ実施日時場所は次の通りです。

月	日	地区	時間	場所
四	一	旧市内	九～三	会津若松保健所
〃	二	同	九～三	同
〃	三	一箕	一〇～三	公民館
〃	四	高野	九～一二	同
〃	六	神指	一〇～三	同
〃	七	門田	一〇～三	同
〃	八	町北	一～三	同
〃	九	大戸	一〇～三	同
〃	一一	東山	九～一二	小学校家庭科室
〃	一三	湊原	一～三	小学校
〃	一四	〃共和	一〇～一二	支所二階

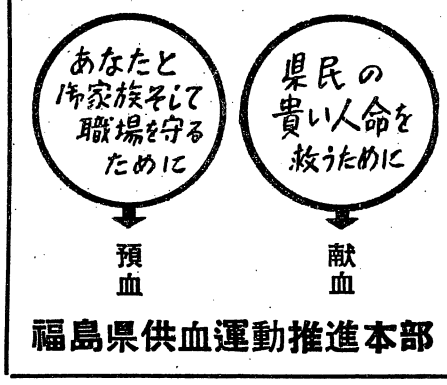
毎月17日商店は休みます

毎月十七日には商店連合会に加盟している商店は一斉休日をする事になりましたのでお知らせ致します。
市民の皆様を始め各商店会の方々も極力御協力下さる様お願い致します。

森林の伐採許可申請を

○許可申請書を提出しなければならないもの（伐採する期間自、昭和三十四年四月一日至、昭和三十五年三月三十一日）「すぎ」四十五年以下「あかまつ」「からまつ」三十五年以下のものを伐採するとき。但し、保安林の伐採は右の外適伐令以上でも許可申請書を提出しなければなりません。
○許可申請の提出期間
自　昭和34年3月1日
至　昭和34年3月30日
農政課林務係

供血運動に御協力下さい



福島県供血運動推進本部

子供

最近の会津若松市の風紀は非常に悪く、犯罪が県下でも多い所となりましたが特に青少年の補導には、学校はもとより特に親の理解と愛情が最も大切です。特に春先きは、青少年の家出、自殺、不良化の時期ですから、右の手に特に気をつけて下さい。

(1)親の見栄や都合で学校や就職先を選んではいないでしょうか。

(2)子供の失敗や教育はこだわらず明るく明朗な教育を指導すること。

(3)子供の気持を考え、語り合ってお互いにはげまし合って、行動の責任を持たせるようにしましょう。

以上のことが〝少年〟を悪から守る根本的なことです。親の虚栄で古い立身出世主義の考えで全てを強要しないで人間性豊かな人格を作り上げる態度がほしいものです。

衣服

いよいよ春先きのシーズンです。ところであなたの家庭着の始末は終りましたか？寒い春になると、唯ぬぎすてて始末を悪くしますとどんな立派な衣服でも早くいたみます。春は何かにつけていそがしいですが、是非、冬の衣服を手入れして、よくブラッシ、防虫剤で手を入れておきましょう。

あなたの家庭の経済の守る原則です。又、衣服だけでなく、これからハエやカの時期に入るわけですが、どぶを掃除し、ごみ箱の所のハエのサナギなどを取って、清楚な会津若松市にしましょう。

御存知ですか？春のいろいろ
家庭の主婦のために

健康

会津の春はかけ足でやって来ました。やがて桜の花が満開になり会津もまずは天国とも云うべき時になりますが、この時に身の廻りの事にだけ気を配り、最も大切な健康の維持をおろそかになりがちです。春は体も非常に活動をする時ですから、栄養を充分に補給し身体を守りましょう。特にカルシューム、ビタミン類、脂肪で新鮮な野さいをとりましょう。

特に今年から会社つとめ入学される子供さんには気をつけて栄養を取って下さい

火災

人の住む所に必ず火気あり、火気ある所から火災が生じると、きまった話ですが、この火が私達の生活を時々おそいます。

春は寒さから開放されて気のゆるみが生じつい火災を起しがちですから、家屋を整理し、川、溝等をそうじし、水がいつも流れるようにして下さい。

日頃から火災に対する心がまえが大切なのです。

火事発生は心のゆるみから来ることが大部分です。こうした火災は、他人までをめいわくをかけるのですから、十分気をつけて下さい。

火の用心はまず、心から

火の用心を！